

# 太 工 同 窓 会 報

第 2 号

昭和47年7月15日  
群馬県立太田工業  
高等 学 校  
同 窓 会

## 同窓会支部結成に際して

### 会員の皆さまへ

会長（二期機械科） 林 進 一

同窓会員の皆様、お元気で仕事に勉強に励んでおられる事と存じます。

我々役員一同も元気で頑張っておりますが、何分我々役員の方の発行が遅くなりました。第二号の発行が遅くなりました。深くおわび申し上げます。

今年の三月第八期生、定時制第四期生が卒業し、同窓会員は二千五百余名となりました。よちよち歩きからやっと一人歩き出来る様になったところです。

同窓会支部を結成し、会員の方々との連絡や親睦をより密接にするために会社単位または地区単位で支部を結成して行きた

いと計画しております。

会社単位の支部では、富士重工「群馬」、東京三洋電機、電々公社に支部が誕生致して、それぞれ活動が始められております。

支部結成の詳細な基準は決定しておりませんが、支部長一名と幹事若干名の役員をおける事になっております。支部規約その他詳細な事項は支部毎に作成していただきます。

支部結成に関してのご質問は本部「学校」までご連絡下さい。最後に、同窓会員の皆様のご健康とご活躍をお祈り致します。

健康とご活躍をお祈り致します。

## 無用の用

校長 竹内保治

出身学校というものは個人にとつてはいつになっても履歴書に書かなければならないように一生涯付き纏うもののようにある。

同窓会とはそういうものだとわかれたわけである。何がしかの入会金と会費を出して入会したものである。大卒を卒業した時には、直ぐ学生会には入会しなかったが、月報にはトビックスがよく載っている。

## 就任の

### ごあいさつ

副会長（教頭）横山日出雄

副会長の重責を汚すことになりましたので一言ごあいさつ申し上げます。私は、三月末の人事移動により県立伊勢崎工業高校より転任して参りました。会員数二千五百を擁する大所帯の会長補佐という大役を十分肝に銘じて、いっしょけんめい

たので、何年か後にそれが読みたくて入会した。中学の同窓会は年一回正月に定例的に催されるので、万難を排して出席することになっている。何時も距離的に近い場所で計画されるので、この年令になつて昔の事が懐しくなるのであろうか。

努力いたしたいと思っております。よろしく願ひいたします。さて、会員の皆様には、学校発展のため、日頃何かとご協力いただき感謝にたえません。なお、年々、三百有余名の卒業生が同窓会に入会することになります。職場に於てもあるいは地域社会でもよろしくご指導のほどお願いいたします。末筆ながら、皆様のご健康とご発展をお祈りいたします。

### 支部結成に当り

富士重工 尾林隆夫

長い間の念願でありました太工同窓会富士重工支部が、本部役員の大協力を以て三月二十九日、学校側、会社側関係者多数の出席のもとに無事発足する事ができました。

現在当社には新卒者六名を合せて二七九名の同窓生が活躍しております。

支部の運営の方法としてはまず資金ですが、年会費二百円とポリーナス時に徴収する事にしてあります。今年は五月に会員名簿の作成を行いましたので特別に百円集めました。これをもとに名簿の作成、配布とそのメンテナンス、新入社員歓迎会及び会員相互の親睦会への援助、支部ニュースの発行等に当てることにしています。具体的な活動は一五人から二五人の小単位プロジェクトに分けて行っているので、プロジェクト独自で催しものを計画しているところもあります。何はともあれ、当支部も生まれて半年、今名簿も各人の手もとに

渡り、どこからか「奴も太田工業だーたのか！」と言う声が聞えて来そうな毎日です。その声の中から、今までになかった職場での人間関係の向上と、お互いの理解が深まれば当支部を作った意義が有るものと言えましよう。

### 支部結成について

東京三洋 境野悦之

母校同窓会が発足して早や七年の年月が過ぎました。私達東京三洋支部結成に当りその近況をお知らせします。

約二年前に百名位の仲間と同窓会を出発したが、仲間の連絡をスムーズにするために名簿作成を行っただけで具体的活動はまーたく出来なかった。その後は各事業部単位で活動計画を作り実施し、現在では会員数二百名以上の会に成長することが出来ました。今後は従来の会を母体とする東京三洋支部として、活動をより積極的に進めるよう全力を出したい。  
支部の活動目的としては次のような内容です。

一、後輩のよき相談相手、よき理解者となれるよう努力する。  
二、他支部との交換会に積極的に参加し、より親睦をはかり社会人としての自信を深めるようにする。  
支部結成に当り、会員は一層の努力と、本部役員のご指導をこれからもお願いいたします。

### 支部結成に向って

興国化学 渡辺雅夫

同窓会報発行に寄せて、我々の勤務する興国化学同窓会を紹介いたします。

現在同窓生は約四〇名でありますが、どういふわけか機械科の卒業生が全くいず、電気科と工業化学科で占めている。会社内同窓会の発会式はまだ行っていないが、近郊他社二、三の同窓会では行ったという話も聞いておりますので、それらを参考にさせてもらい着々と計画を進めており、今年中にはまとまった形として組織だった活動が行えるよう努力中であります。  
我々の会社の同窓会の活動といえるものは、毎年六月に行っ

ている新入社の太田工業同窓生の歓迎の意味も含めて、母校の先生方を交えて同窓会を開き、普段会社内でも職場が異なるためにあえない人達が一堂に会して種々の話に花を咲かせ、仲間を再認識し合い、又新たに加わった後輩達とも語り合える楽しい一時であり、これが唯一の活動であります。この活動より明日からの仕事や人間関係に役立ってこれれば幸いです。

### 連帯と友愛を

書記(学校) 尾内秀夫

創刊号が発刊されて、絶えて久しく第二号がこのたびめでたく発行され、同窓生の近況に接し同窓会の係として、まことに喜びにたえません。本校も本年十一月をもって創立十一年を迎え、この間、十一回の入学式と八回の卒業式をあげ同窓生の総数は二四九九名の多きに達しました。然しながら人生航路の途中で不慮の死を遂げられた方々は、既に十二名を数えます。茲に謹んで哀悼の意を表する

次第です。同窓会は会員相互の親睦を促進し、母校の発展を図ることを目的としております。この趣旨にそって係全員は、日夜精力的に努力しております。一昨年の創立五十周年記念行事に際しては、武道館建設に対し、建築資金の一斑として同窓会より五十万円を寄附いたしました。おかげで県下一の立派な道場であり、思う存分な練習ができます。尚、同窓生と学校とのコミュニケーションをはかるため職場単位の支部組織の結成を役員会のたびに訴えてきました。その甲斐あってか一昨年は東京三洋が、本年三月には富士重工がそれぞれ支部組織を結成しました。これに刺激されて近々興国化学も支部をつくるとの事です。

このように一つのきっかけで支部が三つ四つと連鎖的に増加していく事を願うものです。同窓会の経費は卒業生の入会金を以て充ちたいしております。将来同窓会館を建設するには多額の資金を必要といたします。それに最近の経済成長に伴う物価の上昇と貨幣価値の下落で、今まで会の財政は逼迫した状態でありました。そこで昨年幹事会の承認を得て、四十七年三月の卒業生より、六年振りに同窓会費を入会金千円終身会費千五百円に値上いたしました。同窓会は産業社会の急速な進歩発展に比列し、その重要性はましてあります。今日の驚異的な物質的繁栄のかけに幾多の不幸が存在しております。人間が巨大なメカニズムの支配におかれ、単なる『もの』として取扱れる傾向がそれです。そこには人間の自主性・個性・人格の尊厳性は否定され、人間同志の全人格的なふれあいは稀薄となり、人間は孤独におちります。このような人間疎外の状況を解消してゆく為にも、職場における同窓生の交流と、学校と職場とのコミュニケーションの確立が必要なのです。

最後に『郷土の誇りうけついで希望は高く友愛の』の校歌の如く、自主・連帯・友愛の太工精神を堅持して、今後の母校と同窓会の発展のために同窓生諸君の格段のご尽力を願うものとす。

第一回生の皆さんが本校へ入学したのが昭和三十七年四月、あれから十年が経過しました。まさに今昔の感が致します。

第一回生の皆さんが二年生に進んだ三十八年四月には、進路についての新設校のハンデを解消する為、初代嶋岡校長のまと全校をあげての進路開拓が始まり、毎日教師の誰か一人はその為の出張をしました。勿論当時の生徒諸君も頑張りましたが、三十九年秋には第一回生全員の進路が、

**進路指導十年間を**

**顧りみて**

進路指導主事 後藤友蔵

二回生から六回生までの進路指導を、主事としてその重責を立派に果たされた横山浩先生は、現在館高定時制主事に栄転されています。

現在、本校は進路指導についても県内で生進校的な立場にあります。これは川田・横山両先生のお陰であり、四十五年四月から進路指導を担当した小生は非常に両先生に感謝しております。小生は小生なり、生徒自身が自分の進路の実現の為に、一層に意欲的に考え行動する事を目差して頑張りたいと思っておりますが、本年度は、下山(C)・田島(物)・小林(C)・和田(数)・長谷川功(E)・須永(M)の各先生の強力な支援のもとに仕事をしております。

卒業生の皆さん、お暇の時は来校したり、あるいは手紙で、皆さんの近況や体験を知らせて下さい。後輩の進路指導上の貴重な資料したいと思います。

近隣の先輩工高に先駆けて決定し、新設校のハンデを本校の実力で排除したわけでして、全校で喜び合いました。

売手市場の最近ではとても想像も出来ないものではありません。このような苦難の一回生の進路について、職業指導主事として活躍し立派な業績を残した川田光一先生は、現在館女の学校長に栄転されています。第二回生の時は、新設校のハンデは多少は緩和されましたが、当時の不況の為にやはり苦労しました。

### 学校だより

#### 職員移動

昭和三十四年四月  
 岩谷正一先生 (工化) 蚕糸高へ  
 横山喜紀 (国語) 大泉高へ  
 本川 嘉 (数学) 渋市工へ  
 青田不二枝 (事務) 退職  
 田野京子 ( ) " "  
 平賀千恵子 (音楽) " "  
 田中喜佐治 (数学) 兼 佐波農より  
 近藤義道 (国語) 大泉高より  
 菊地丞示 (機械) 新任  
 宮崎 隆 (定国) " "  
 河上建三 (定機) " "  
 橋口 旬 (数学) " "  
 塚越正次郎 (工化) " "  
 浅野迪子 (音楽) " "  
 常見静代 (事務) " "  
 広田さく江 ( ) " "  
 昭和三十四年十二月  
 内田幸晴先生 (電気) 退職  
 昭和三十四年四月  
 川田光一先生 (数学) 教育センターへ  
 大杉幸一 (事務) 大間々高へ  
 常見静代 ( ) 退職  
 大沢由紀江 ( ) 新任  
 坂牧英治 ( ) " "  
 長谷川功二 (電気) " "  
 昭和三十五年四月

柿沼武男先生 (国語) 大泉高へ  
 志村 博 (英語) 太女高へ  
 吉原一夫 (数学) 尾女高へ  
 氏冢正弘 (機械) 盛岡農へ  
 高城幸一 (定機) 桐工高へ  
 飯島博志 (工化) 退職  
 築比地寛 (定数) 館女より  
 佐藤 正 (定機) 新任  
 木村 修 (数学) 太女より  
 木村益夫 (国語) 大泉より  
 金井恵三 (機械) 新任  
 高橋洋一 (工化) " "  
 八代善彦 (英語) " "  
 糸井秀一 (定機) " "  
 昭和三十五年九月  
 八代善彦先生 (英語) 退職  
 昭和三十五年十月  
 金子 健先生 (英語) 新任  
 昭和三十六年四月  
 横山 浩先生 (社会) 館林高へ  
 森田 信 (英語) 渋川高へ  
 野口宏興 (体育) 館林高へ  
 津田照隆 ( ) 伊工高へ  
 根岸嘉夫 (事務) 大間々高へ  
 河上建三 (定機) 桐工高へ  
 山岸有子 (司書) 退職  
 堀越和佐久 (社会) 館女より  
 増山晏臣 (体育) 桐南より  
 須藤愛悌 ( ) 新田より  
 山崎好雄 (定機) 前工より

塩田直衛先生 (英語) 板倉より  
 戸張善司 (事務) 太女より  
 柿沼加代子 (司書) 新任  
 金子 健 (英語) 太商高へ  
 昭和三十七年四月  
 青山良平先生 (教頭) 伊工高へ  
 近藤義道 (国語) 館林高へ  
 槻岡睦朗 (定体) 玉村高へ  
 横山日出雄 (教頭) 伊工より  
 田沼広美 (国語) 館高より  
 渡辺 実 (定体) 新任  
 糸井秀一 (定機) 退職

創刊号より五年間分をまとめましたのでよろしくお願ひ致します。

### 会員だより

青戸久武 一期 C 武藤良雄 四期 C  
 岡島道昌 二期 E 新井俊明 六期 E  
 小内文二 三期 M 菅原義夫 六期 C  
 青木洋司 四期 M 町田和夫 六期 C  
 河口博光 四期 M 西瀧元良 七期 C  
 穂積敏夫 四期 C

右記の方々は、若くして永眠されました。お悔み申し上げます。

### 事務局だより

母校に勤務していた飯島博志君 (二〇) が退職され後任に、高橋洋一君 (二〇) が勤務し同窓会関係の仕事を積極的に進めておりますのでよろしく。

近く会員名簿の発行も考えており住所、勤務先等の調査にはよろしくご協力願います。

### 編集後記

第二号の発行が大変遅れたことをおわび致します。今回は支部結成の特集号となりましたが、これは同窓会全体では世帯が大きくなかなか活動しにくい面もあるので支部段階での活動から始め順次拡大していきたいと思つたからです。そして会報が支部や同窓生や母校の様子を知る情報源となり、より活発な活動の原動力となっていきたいと思ひます。その為には会報も年一、二回位発行したいのですが各支部、同窓生から会員の活躍状況や動向等たくさん原稿をお待ちしております。また皆様の会報とする為ご意見や提案がありましたら併せてお願ひ致します。